



一般質問

永田壯一

所属委員会

地域文教委員会
オリンピック・パラリンピック対策特別委員会
文化財保護・活用特別委員会

| 区民の健康と健康診断について

問 : 健康診断は胸部 X 線検査を毎年行うよりも内視鏡検査の方が効果的ではないか。血液検査だけでも十分という指摘もあり、検査結果についても基準値超えても薬よりまず経過観察で可能なことが多い。

検診率向上が区民の健康維持に有効とは限らないのではないか。また大病院の受診を希望する方が多いが、病気や手術以外は地域のかかりつけ医によるプライマリーケアが健康管理には有効である。健康維持、コロナウイルス等感染症対策には個々の適切な食事、運動による免疫力強化が大切である。保健所は許認可業務が主でサービス精神が足りない。

独自に情報収集して本質的な区民の健康管理について考えるべきではないか。

答弁 : 受診率向上が健康維持につながる。

胸部X線検査は必要で年一回は行うべき。

プライマリーケアは地域の医療を担う重要な役割である。



詳しくは、千代田区議会ホームページ <https://gikai-chiyoda-tokyo.jp/>



一般質問

河合良郎

所属委員会

地域文教委員会
景観・まちづくり特別委員会
災害時要配慮者等対策特別委員会

| 鳩等の粪尿被害・ペット犬の粪尿放置問題・スズメ蜂の巣駆除対応について !!

問 : ①鳩の飛行ルートでは、様々な被害がでている。「空飛ぶネズミ」鳩の粪尿は、生活環境を劣悪なものにしている。本区の「生活環境条例」の中に、私有地での餌やり禁止項目を追加し、また被害地域を区長が指定し、条例違反として改善措置を命じることができるように条例改正をしてはどうか? ②ペット犬粪尿放置について、麹町地域では放置粪尿の場所を黄色いチョークで囲み日付を記入し、飼い主に対する警告活動を実施している。ルールからマナーへ移行させる為に、マナーアップを図る期間限定の「黄色いチョーク作戦」を実施してはどうか。 ③スズメ蜂の巣駆除について、2017 年の蜂刺傷による全国死亡者数は 13 人です。私有地から飛来したスズメ蜂により区内で刺傷死亡事件が起こった場合 行政の責任問題が発生する。安心・安全を担保する為、私有地内スズメバチの巣駆除を無料実施すべきではないか?

答弁 : ①鳩の餌やりについては、私有地内であっても改善措置を命じることができる。さらに踏み込んだ対応については、地域と連携し対応していく。 ②ペット犬粪尿放置問題は、迷惑行為防止啓発活動を行い、マナーアップを図る。 ③私有地内スズメ蜂の巣無料駆除実施につきましては、他自治体の導入状況を参考に研究する。

詳しくは、千代田区議会ホームページ <https://gikai-chiyoda-tokyo.jp/>

| 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた区の取り組みについて

問 : オリンピック・パラリンピックを契機とした健康促進について、特に高齢者の健康施策への参加を図る取り組みは。

答弁 : 区の事業に多くの高齢者が参加していただけるよう、広報誌やホームページ、チラシ等で周知、介護保険関係の通知送付時の案内文封入、関係会議体での周知に努めてまいります。

フレイル状態に陥っていないか、客観的な測定を行うなどした上で、相談につなげるフレイルチェック事業なども実施しながら、高齢者が運動を含めた心身状態の改善を継続的に図れるよう、取り組んでまいります。

問 : オリンピック・パラリンピックを契機として、子供たちに教育的なレガシーを残す取り組みと今後の展開について具体的に。

答弁 : 本区でも、多くの競技が開催され、子供たちもこれらの競技を観戦する予定になっています。生で観戦することが一番のレガシーにつながるものと考え、人生の糧となるようなかけがえのないレガシーを心と体に残せるようオリ・パラ教育を推進してまいります。

問 : 新型コロナウイルスを含む、感染症対策をどのように検討されているか。

答弁 : 東京都、国や大会組織委員会等と図上訓練を重ね、実効性を検証し随時更新されています。区は東京都等の関連機関と密接に連携し、大会に備えた感染症対策を実施してまいります。



一般質問

山田丈夫

所属委員会

保健福祉委員会

議会運営委員会

景観・まちづくり特別委員会

オリンピック・パラリンピック対策特別委員会

| 商業エリアにおけるネズミ対策

問 : 2020 東京大会期間中は国内外から多くの来街者が見込まれる。商店街や飲食店エリアにおける①ネズミ対策②ごみ捨てマナーや客引き対策等、来街者受け入れに向けた取り組みを問う。

答弁 : ①個別相談には殺鼠剤等を配布。地域全体で対策が必要な場合、周辺地域の生息調査を実施し、通路の遮断や巣の破壊等の手法を組み合わせて対応。近年ネズミに関する相談が増えており、関係部署によるネズミ対策ワーキンググループで密な情報交換を行っている

②昨年、魅力あるまちを目指して商店街と協定を締結。商店街によるごみ出しルールの見直し等で環境美化が図られ、地域団体による路上看板や客引き行為のパトロールで周辺環境の改善が図られている。こうした地域主体の地道な取り組みを今後も継続できるよう、環境整備の側面から支援する。



ネズミ捕獲器を街の各所に設置するなど対策を進めております



一般質問

うがい友義

所属委員会

企画総務委員会

景観・まちづくり特別委員会

文化財保存・活用特別委員会

| 今後の財政運営について

問 : 中長期的な視点から、財政の見通しや基金活用の提示は評価する。国の税制改正、社会経済動向が千代田区へ及ぼす影響と、基金の活用も含めた今後の財政運営について、見解を求める。

答弁 : 10カ年の財政見通しでは、ちよだみらいプロジェクトで掲げる施策、当面3カ年に掲げる施策、公共施設の計画的な更新、都市基盤の整備などを、基金を有効に活用しながら対応する事を示した。



代表質問

内田直之

所属委員会

保健福祉委員会

議会運営委員会

景観・まちづくり特別委員会

災害時要配慮者等対策特別委員会

| 新型コロナウイルス感染症対策について

問 : 今後予定されている区主催イベントの取り扱い基準や風ぐるまの運行、保育園、幼稚園、学校等への対応な、また、千代田区における経済的な影響と中小企業や小規模事業者を対象とした支援について、見解を求める。

答弁 : イベントや区民が利用する施設については、3月15日を目途に中止や利用制限をする。区立学校・園等では、保護者への感染症対策の徹底とともに、行事等については中止を決めている。卒業式・卒園式については、時間の短縮や参加者の制限などの規模縮小の検討を行っている。「風ぐるま」の運行については、車内清掃を徹底するほか、感染予防啓発用のチラシを掲出し、現時点においては通常運行を行っている。経済対策では、区内中小企業に対し、「緊急経営支援特別資金」を新たに創設する。経済的影響を受けた区内中小企業に対し、低コストでの資金調達手段を提供する事を狙いとしている。

| 東京の都市再生と神田のまちづくり

問 : 千代田区の都市機能や個性の低下が懸念されている。神田駅周辺から神田警察署通り沿道においては、まちづくりの機運も高まってきた。神田の地域特性を生かした、都市再生に向けた考え方について、見解を求める。

答弁 : 神田駅周辺や神田警察通り沿道の地域では、地域主体の組織が設立され、まちづくりの検討が進められている。歴史や文化を継承しながら、ご指摘の神田らしい都市再生の取り組みについて、地域とともに議論を尽くしながら進めて行く。

| 低未利用区有地の活用方針について

問 : 旧九段坂病院跡地の取得後の用途については、議会とも議論しながら最適な方向性を検討すると同時に、13施設ある低未利用区有施設についても、その活用も含めた方針を策定することを提案する。

答弁 : 低未利用区有施設の課題としては、地価の高い本区において、区有施設は常に有効な活用が求められている中で、十分な活用が図られていない点である。旧九段坂病院跡地の取得交渉については、本格交渉に臨むに当たり、合意に至れば早期に取得したいと考えている。まずは取得することに最大限に取り組み、取得後の活用などについては、議会にも様々なご議論を頂き、方向性を定めていく。

その他、令和2年度の予算編成や東京2020オリンピック・パラリンピック大会期間中の区民生活への影響について、質問致しました。



旧九段坂病院跡地